

昭和12年  
部長寺尾教機の下に慶應義塾大講堂内競技場にて二部  
リレース走り。

昭和16年10月

東京 YMCA にて、初の对外試合を行ふ。  
其の時ノ記録は、慶應8-1 YMCA(外人クラブ)

昭和17年1月

YCA と対戦、慶應8-1 YMCA 也  
其の後、タイ国立國際試合を行ふ。レバモビ、斯多撒化の監  
修徒生障等ノ理由により、一時練習中絶す。

昭和21年1月

審観的事情の好報と共に再び昇殿足し、横浜 YMCA にて  
練習開始す。

昭和22年12月15日

戦後初の乙の对外試合を毎日新聞社にて行ふ。  
其の時の成績は慶應6-2 每日新聞社(詳細以下記の通り)。

昭和22年12月15日

東京 YMCA と対戦、9-2(2勝)。  
(詳細以下記の通り)。

三

卷之二

綱六  
鐵角  
三加  
橋藤

卷之三

蘇  
廣  
南

三  
一

2  
0

七〇一

15  
15

15  
14

WTU {  
c

32

24

2

11

卷之八

15  
15

15/15  
梁尾  
野猪

卷之三

卷之三

22

卷之三

三

1

卷之三

4

1

2

4

羅福 22 年 12 月 16 日

第一回博士の「木廢籠・明治・立教」の三校の参加の元に  
開催されました。慶應大・明治大・立教大の三校で構成  
されました。

記録詳細は次の通り。

3

小	齊	加	織	應	廣	齊	綿	廣	應
1	齊	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣
2	區	蘇	織	田	田	齊	織	廣	田
3	區	蘇	織	應	應	齊	織	廣	應
4	區	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣
5	久	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣
6	久	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣
7	久	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣
8	久	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣
9	久	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣
10	久	蘇	織	廣	廣	齊	織	廣	廣

昭和23年4月11日(水)

今日本選手取扱永田町、小学校にて行ひ此、慶應子ノ洋華  
ニ二角主機飞始也、三橋・小倉・藤井・廣田が複1号、  
六角・三橋組、藤井・廣田組が優勝す。  
（試験次回過）。

第一回戰	內藏石井組（明治）
第二回戰	福江・久成組（明治）
第三回戰	官崎・五十嵐組（明治、大正）
第四回戰	今村・佐久次組（昭和、久）

卷之三

春、學生、一、外、旅行、印、紙、立、教、學、二、時、裝、一、行、印、紙、

第三回 連続優勝。歴代の通じ

1

廣  
雅

三

三

110

— 2 —

5/5

191

15/9

15 / 5 /

立教不屋

一一一  
15/10/1  
林木  
松

一  
一  
一  
一

卷之二

慶應

廣紙用  
151511123

三、1  
橋頭  
10/1  
11  
15/1  
野花  
村莊

15/5  
15/5  
15/5

三 極

卷之三

增刊23年11月号

秋季將至、一ヶ用備、今期上、後段大際の參加に于、  
四大牌、一ヶ、之成子、慶應廿四、一月、後段、二、一、  
立教、二、一月、之擊破し、三國連続優勝す。其間次の通じ。

5

立	花	小	廣	加	小	廣	立	應
寺	魚	立	田	蘇	立	廣	立	立
寺	魚	立	田	井	立	田	立	立
寺	魚	立	田	蘇	立	廣	立	立
寺	魚	立	田	井	立	廣	立	立
寺	魚	立	田	蘇	立	廣	立	立
寺	魚	立	田	井	立	廣	立	立
寺	魚	立	田	蘇	立	廣	立	立
寺	魚	立	田	井	立	廣	立	立

推知此年廣州以上之鐵鑄已以乙終了。三：九：七：九：加承宣、  
肇、廣、田、深、乙位。蘇井、卯、三位、O.B.在蘇井半位、乙又乙工  
山半丙位、復丙、蘇井、廣、田、組丙、三位乙、丁、庚、表三位。

## 昭和24年度記録

本年より新しく部長以奥井復次郎教授を載り、監督は仲地幹男氏就任す。

3月26日、27日。

幼稚園体育館に於き、第一回園林学生バドミントン選手权が行ひゆる。優勝予定、準決、藤井、廣田、三島、三橋、小宮、イヌマエル、前田、福井、藤井・廣田組、中沢・齊藤組、大庭・前田組、六角・三橋組、河口・毛利・川組、石井・天木組、久又・工川、小宮組未勝利。準の成績(1位廣田、2位藤井、3位~~小宮~~、4位~~川~~)、准4位小宮と優勝者が並ぶ。優の成績(1位藤井・廣田組、2位久又・工川・小宮組)である。準決勝(決勝の成績)は次の通り。

準決勝	藤井(慶應)	15—6	小宮(慶應)
準決勝	廣田(慶應)	15—7	久又・工川(慶應)
決勝	廣田(慶應)	15—10	藤井(慶應)
三位決	小宮(慶應)	15—10	久又・工川(慶應)

複

準決勝	藤井・廣田組(慶應)	15—2	中野・加山組(法政)
決勝	久又・工川組(慶應)	15—10	秋元・原田組(法政)
次	藤井・廣田組(慶應)	15—2	久又・工川組(慶應)

6月

春季学生リーグが行ひゆる。優勝は藤井138—1、法政127—2、立教127—2と勝ち、四回連続優勝を達成す。

續下記入地圖。又同縣二行即凡新入縣之病乙毛立數以六一、三取以四一、明治以七一〇之體積。

1

11月

秋季溝生り一ヶ月が経過し、二ヶ月後は於て、廣鹿行立教は少々一々、耕作は少々一、二ヶ月後は一ヶ月半勝し、五ヶ月

連續優勝す。續次の如く。

又、同期に於ける新入社員は於て112名、立教は少々一〇

明確は少々一〇、耕作は少々一、二ヶ月後は一ヶ月半勝し、五ヶ月人數は加入して二ヶ月後は一ヶ月半勝し、二ヶ月連續優勝す。

明確は少々一〇、耕作は少々一、二ヶ月後は一ヶ月半勝し、二ヶ月連續優勝す。

廣鹿

廣小  
田

藤前  
田

金花  
田

藤前  
田

少  
唐  
田

廣  
田

金花  
田

藤前  
田

廣  
田

藤前  
田

金花  
田

立教

廣小  
田

金花  
田

藤前  
田

少  
唐  
田

廣  
田

金花  
田

藤前  
田

廣  
田

藤前  
田

廣  
田

金花  
田

廣鹿

廣小  
田

藤前  
田

金花  
田

藤前  
田

少  
唐  
田

廣  
田

金花  
田

藤前  
田

廣  
田

藤前  
田

金花  
田

立教

廣小  
田

藤前  
田

金花  
田

藤前  
田

少  
唐  
田

廣  
田

金花  
田

藤前  
田

廣  
田

藤前  
田

金花  
田

小廣田	藤井	加藤	新前田	廣吉	喜多	高木
藤井	喜多	高木	新前田	廣吉	喜多	高木
喜多	高木	高木	喜多	喜多	高木	高木
高木	喜多	喜多	高木	喜多	高木	喜多
喜多	高木	高木	喜多	喜多	高木	喜多

法政

中野藤

原新井

石井

中野

藤井

原田

原田

12月3日、4日。

慶應大学幼稚園会天現寺体育館12日、第=國體學生八十三  
 ニトニ選手权が開催也。以下、慶應子の出場者11人。第12。  
 藤井、廣田、六角、三橋、小倉、1又2工凡、前田、後川、  
 藤井、廣田組、中次、齊藤組、大澤前田組、六角、三橋組、石井、  
 王、前川組、石井、天木組、1又2工凡、小倉組(以下)。  
 第13位112、第12次勝(慶應期の小藤成)、第1位廣田、  
 第2位藤井、第3位1又2工凡、第4位小倉(王)、横尾了  
 沢勝(12位慶應期の王)、第1位1又2工凡、小倉組、第2位  
 藤井、廣田組と12、戦績次の如し。

準、	準決勝、	藤井(慶應)	15-6	小倉(慶應)
準決勝、		廣田(慶應)	15-5	12又2工凡(慶應)
決勝		廣田(慶應)	15-13	藤井(慶應)

優 決勝 12工凡、小倉組 第二回 藤井、廣田組

昭和24年度令年卒業生32名=111名(12月)。第1=甲1位廣  
 田、第2位藤井、第3位1又2工凡、第4位小倉、第5位12

前田水三郎、復丁子。第1位廣田麻井組、第2位小室。

久々川組水三郎、復丁子。

昭和24年度の成績は以上が通りである。